



暮らしの中の放射線を考えてみませんか？

上関未来通信

豊かな町を原電とともに

上関町まちづくり連絡協議会 ● 会報

No. 21
通算337号

発行 平成28年10月11日

女性のための勉強会

9月25日、北海道教育大学の鶴飼光子先生を招いて『お母さん世代の女性』を対象に、身近にある放射線についての勉強会と、放射線照射によって芽止めされたジャガイモを使った料理教室を行いました。

身近にある放射線利用

「放射線」という言葉を聞くと「怖いもの」「危険なもの」というイメージを抱くかも知れません。しかし放射線は、実はとても身近に利用されているものなのです。例えば食品に照射すると、殺菌や殺虫、芽止め（発芽遅延化）などの効果があることが知られています。よく食品に放射線が残ってしまうのではないかと心配される方がおられますが、放射線は通り抜けてしまうので食品にとどまることはありません。食品への放射線照射は、外国では積極的に行われています。中でもアメリカは裁判の国なので、食品衛生にはとても慎重になっており、食品会社などが裁判に負けないよう殺菌に使うことで、食中毒を予防しています。また軍隊や学校の給食には照射食

品があることが知られています。よく食品に放射線が残ってしまうのではないかと心配される方がおられますが、放射線は通り抜けてしまうので食品にとどまることはありません。食品への放射線照射は、外国では積極的に行われています。中でもアメリカは裁判の国なので、食品衛生にはとても慎重になっており、食品会社などが裁判に負けないよう殺菌に使うことで、食中毒を予防しています。また軍隊や学校の給食には照射食

鶴飼光子氏 プロフィール

現職：北海道教育大学大学院教育学研究科（函館校）教授 地域協働専攻 地域環境グループ
1983年／お茶女子大学人間文化研究科博士後期課程修了、学術博士取得

専門は食品学および分析化学。大学では化学や環境分析論などの講義や実験を担当する。



ます。また軍隊や学校の給食には照射食

鶴飼先生からひとこと

放射線が、暮らしのさまざまな場面で有効活用されていることはあまり知られていません。食品に対しても衛生目的に世界各国で利用されていますが、日本国内では特例的にジャガイモの芽止め（遅延化）が行われているにとどまります。放射線の特徴と有効利用の現状、また、リスクについて考えてみませんか？

品を必ず使用することが法制化されています。栄養管理された食事を大量に作ることで、照射によって菌0の状態にすることで長期保存でき、食中毒予防にもつながるからです。さらに東南アジアでは、輸出用のフルーツなどにも使用しています。適正照射をして殺菌、殺虫を行っていないと、外国は買ってくれないからです。

日本は食品照射技術の先進国

実はアジアの放射線照射施設は日本製が多いのです。これは歴史が古く実績があることから、最も信頼されているためです。

しかし、日本での食品照射は、特例的にジャガイモの芽止めにしか許可されていません。放射線照射食品の輸入も禁止しています。このため殺菌、防虫は「加熱」で行っているので、外国の友人に「まずくして食べるの？」と聞かれて返事に困ることがあります（笑）。

（裏面に続く）

料理教室 おいしく楽しく、ジャガイモ料理

ジャガイモのクラムチャウダー

	1人分
アサリ	1缶
ベーコン	60g
キャベツ	100g
タマネギ	1個
ジャガイモ	2〜3個
サラダ油	大さじ2
水	1カップ (200cc)
牛乳	2カップ (400cc)
クラムチャウダー	2/3箱

- ①ベーコン、キャベツ、タマネギ、ジャガイモを1cm角に切る
- ②厚手の鍋にサラダ油を入れて熱し、切った具材を炒める
- ③水、牛乳を加えて中火で加熱
- ④沸騰したら弱火にして2〜3分煮込む
- ⑤火を止め、沸騰がおさまったらルーを入れる
- ⑥アサリを加え、弱火で5分程度煮込んででき上がり

ジャガイモと鶏肉の甘辛煮

	1人分
ジャガイモ	6個
鶏もも肉	3枚
ネギ	2本
出汁	4カップ 1/2
(調味料)	
砂糖	大さじ5
酒・醤油	各大さじ6
みりん	大さじ3
サラダ油	大さじ2

- ①皮をむいたジャガイモを6等分して水に5分程度さらす
- ②フライパンにサラダ油を入れて熱し、一旦鶏肉の皮の部分を下に焼き、焼き色がついたら裏返して両面をこんがり焼く
- ③ネギを加え、転がしながら焼き色をつけ、さらにジャガイモを加えて炒める
- ④出し汁を入れて沸騰させ、アクを取り除いて弱目の中火に
- ⑤調味料を加えて落とし蓋をし、煮汁が1/3になるくらいまで煮詰める
- ⑥落とし蓋をとって中火で煮汁がなくなるまで煮絡めてでき上がり

しゃきしゃきジャガイモサラダ

	1人分
ジャガイモ	3個
青じそ	1束
梅干し	1個半
本つゆ	大さじ3
刻み焼きのり	適量

- ①ジャガイモを千切りにし、水を替えながらよくさらす
- ②青じそを千切りにし、水につけてアクを抜いて水を切る
- ③梅干しの種をとって細かく叩き、本つゆと混ぜ合わせる
- ④ジャガイモと青じそを混ぜて盛りつけ③をかけて刻み海苔を振ってでき上がり



講演会に続いて料理教室を行いました。これは「一緒に作った料理を食べながらおしゃべりしたい」という鶴飼先生の希望に応える形で青壮協が企画し、地元の女性グループ『アップル』が料理の指導を快く引き受けてくれて実現したものです。材料は、北海道士幌町から取り寄せた放射線照射による「芽止めジャガイモ」で、これを参加者全員で調理しました。でき上がった3種類の料理は、子どもたちも交えて楽しく会話しながらいただきました。



(表面よりつづき)

意見交換会

Q／日本では放射線照射による殺菌、殺虫が許されていないとのことですが、安全な食材はどのように選べば良いですか。

鶴飼／流通している食材は、基本的には安全だと思いますが、より安全を高めるには、誰がいつ作った(獲った)ものかを知ること、そして長期保管をせず、できるだけ早く食べることでしょうね。

Q／これまでは日本の食材のほうが安全だという印象でしたが、放射線照射された外国の食品のほうが安心できるということですか？

鶴飼／確かに放射線を照射した食品は殺菌されていて、腐敗しにくいという意味で安全です。日本にも、早くそのような食材が入ってくるようになれば

良いですね。ただ、放射線は残留農薬や土汚れなどは取り除いてくれません。やはり「よく洗って早めに食べる」というのが基本だと思います。

参加者の声

●身近なお話で、とてもわかりやすく楽しく勉強できました。もっとたくさんお話しが聞きたかったです。できればPTAや女性グループの集まりなどに来ていただけて、今回のようなお話をしていたきたいと思います。

●参加した子どもが大学を希望しているので、大学の講義のような状況を体験でき、ますます行きたくなったようです。ありがとうございました。

●今日、上関町に新しい女子会ができました。これからいろいろ勉強していきたいと思っています。鶴飼先生には今後とも協力をお願いしたいと思います。

勉強会を終えて

柏田／前回の勉強会は男性ばかりだったので「今回は女性とおしゃべりたい」との鶴飼先生の希望を受けて、今回は女性に集まっていたきました。

個人的には、放射線や原子力教育について言及されたことも良かったと思います。青壮協では、これからも原子力についての理解を深めるため、勉強会や講演会を実施し、皆さんに正しい知識を身につけていただきたいと考えています。たくさんの方の参加を待っています。

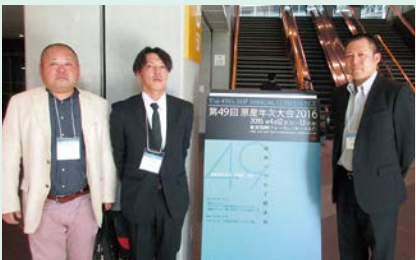
松原／料理教室を担当しました。皆さん楽しんで学んでくれたようで喜んでいます。最後に、ご協力をいただいた女性グループ「アップル」さんに、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

核燃料サイクルの検討は必要

上関町青壮年連絡協議会 事務局 長 柏田 真二
大会を通じて、気候変動等の地球環境問題を考慮すると、クリーンで低炭素エネルギーである原子力発電は、核燃料サイクルの構築等、適切な制度や仕組みのもと、今後検討されていくべきだと思いました。

次世代を見据え 国民の理解を

上関町青壮年連絡協議会 事務局 長 松原 聖
意見交換会を通じて、高レベル放射性廃棄物の処分は大変長い期間にわたる事業であり、原子力を今後も利用するためには、最終処分について、我々大人だけでなく、次世代を担う子どもたちも含め、国民全体で理解する必要があると実感しました。



第49回 日本原子力産業協会 年次大会 未来へつなぐ原子力

青壮協 参加レポート



4月12・13の両日、日本原子力産業協会(JAIF)主催の『第49回原産年次大会』および『第13回JAIF地域ネットワーク意見交換会』が開催されました。

テーマは「ENERGY FOR US 未来へつなぐ原子力」で、原子力に関する様々な講演やパネルディスカッションが行われました。

また意見交換会では「高レベル放射性廃棄物の最終処分の実現に向けて」をテーマに意見交換が行われました。青壮協としては、上関町が数少ない原子力発電所立地計画地点であることを踏まえ、建設に向けた課題等について説明するなど、非常に有意義な意見交換会となりました。

大会を通じて議論されたのは「世界の持続可能な発展には原子力が重要であり、原子力事業を安定して運営するには、核燃料サイクルや高レベル放射性廃棄物の処分等に対する適切な制度、仕組みの構築が必要である」、「地球規模でのエネルギー資源問題や温暖化問題を考慮すると、原子力や再生可能エネルギーを含め多様な電源構成が必要である」という2点でした。

上関町青壮年連絡協議会主催 エネルギー講演会

「エネルギー・環境政策と私たちの暮らし」

常葉大学 経営学部 教授

講師：山本隆三 氏

日時／平成28年 10月23日(日)
10:00~12:00
(開場 9:30)

場所／上関町総合文化センター 多目的ホール

主催／上関町青壮年連絡協議会

後援／一般社団法人 日本原子力産業協会
上関町まちづくり連絡協議会



8月3日、中国電力の埋立免許の延長が許可され、建設に向けた環境がひとつ整い、建設に一步近づきました。しかし、県は同時に、発電所の本体工事の着工時期が見通せるまで埋立工事を実施しないように要請。中国電力は要請の趣旨を重く受け止め慎重に対応すると県に回答しています。

町連絡としても、一日も早い準備工事の再開を願っており、中国電力には一日も早く着工の見通しを得て工事を再開できるような、しっかり取り組んでいただきたいと思います。

後記

青壮協の環境美化活動 今年も総出で海岸清掃

5月8日(日)、上関町青壮年連絡協議会メンバーを中心に、総勢20名が中の浦海水浴場の清掃活動を行いました。これは、毎年町内外から大勢の方が訪れる海水浴場を快適に、安全に楽しんでもらおうと、昨年から行っているものです。

今年は浅瀬にある大きな岩や力キ殻のついた岩を撤去、また砂浜のゴミを拾うなどの活動を行いました。



青壮協は「原電立地を契機とした町づくり」を実現するために、様々な活動をしています。今後も町づくりにつながる活動を積極的に企画していく予定です。多くの町民の方のご理解、ご協力をお願いします。

